



全学年の学習指導本時案

第6学年1組 総合的な学習の時間学習指導本時案

「水でつながる昭島市」

小単元③ 全70時間中の第50時

対 象：第6学年1組 34名

指導者：

(1) 本時の目標

「あきしまの水」のおいしさをお店に来た方々に再確認してもらうために、お店に合った方法や内容から「あきしまの水」の素晴らしさを伝えるためにできることを考える。

(2) 子どもの姿・手だて・期待する変容

前時までの子どもの姿	本時の目標に対する手だて	期待する変容
・「あきしまの水」の特性を科学的に捉えたり・活用する人々から「あきしまの水」活用している理由やこだわりを聞いたり・世界の水道水との比較をしたりしながら「あきしまの水」の価値を高めてきた。 ・飲食店で「あきしまの水」を飲んでいる人たちに意識調査をし、素晴らしさを理解して飲んでいる人が少ないことを課題として設定し、調査の結果から「あきしまの水」に関する意識を分析して目的に迫る。	・伝える方法、「あきしまの水」の良さはすぐに確認をして目的に合ったものを選ぶように視覚的に掲示しておく。 ・お店に応じて方法を選びやすいようにホワイトボードや思考ツールを活用できるように掲示しておく。	・水について広がった考えをそれぞれのお店に合った方法を選択していく力を高める。 ・お店で飲む「あきしまの水」のおいしさを再確認してもらうために、お店の状況や客層に合った方法や内容を具体的にイメージして活動することで、地域に自ら関わろうとする思いを高める。

(3) 本時の展開

学習過程 (時間)	学習活動 「教師の声掛け」 ・予想される子どもの反応と活動	◎手だて ●評価
課題の把握 (1分)	「あきしまの水」をよりおいしく飲んでもらうために、お店に合った方法と内容を考えよう。	
めあて (1分)	1 めあての確認をする。 「今日の総合はどうしますか？」 ・前回のNEXTを確認する。 ・分析した結果から「あきしまの水」をよりおいしく飲んでもらうためにお店に合った方法と内容を考えたい。	◎めあてを立てる際は、児童の言葉で作り上げることで、自分たちで探究学習を進めているようにファシリテートする。 ◎前時の終末で次時の活動を児童と見通して掲示しておく。
見通し (3分)	2 学習の流れを決める。 「今日の流れと時間はこれでどうですか。」 ① 「めあて」(5分) ② 「グループ」(25分) ③ 「全体」全体で確認する。(5分) ④ 「まとめ」めあてについて考える。(3分) ⑤ 「NEXT」次時の見通しをもつ。(2分) ⑥ 「ふりかえり」(5分) 「この授業は何をどうしたらめあてを達成しますか。」 ・自分たちにできることを出せたら○。 ・伝えたい内容とお店に合った方法を選べたら◎。	◎本時の流れを児童と決定し、ホワイトボードに示して、見通しをもてるようにする。 ◎活動をカード化して児童の意見で柔軟に入れ替えたり付け足したりできるようにする。 ◎時間配分を児童と確認することで、活動中の時間の感覚をもたせるようにする。 ◎本時の評価基準を児童と確認することで、本時のゴールイメージをもって活動できるようにする。
学び合い (25分)	3 グループでの活動を確認する。 「グループでは、何をしますか？」 ・お店ごとに集まって「あきしまの水」の良さを何を伝えたいか考える。 ・お店 <内容> ・「あきしまの水」の安全性の○○を伝えたい。	◎前時までに、地域の飲食店に「あきしまの水」に関する意識調査の分析をして現状を把握しておく。 ◎出てきたアイデアが見えるように付箋に書きホワイトボードで整理していくようにする。 ◎分類しながら整理していくことでアイデ

学びの共有 (5分) まとめ (3分) NEXT (次時の見通し) (2分) 振り返り (5分) 次時	・「あきしまの水」の成分の〇〇を伝えてみたら良い。 ・「あきしまの水」のでき方を伝えと、何十年もかけて作られているすごさが伝わるかもしれない。 <方法> ・座ったときに見えるようにポップを貼ってもらうのもいいね。 ・給水所で水を汲むから、水が出るところに貼っておくのもいいね。 ・机の上に置いておくのもいいね。 ・店員さんがお水を持っていくから一言説明してもらうのもいいね。 4 全体で共有する。 「それぞれのお店で出てきたアイデアがたくさんありますね。」 ・他のお店のアイデアを自分たちのお店でも使えるものがあるかもしれないから見ておこう。 ・お店の広さによって、良いものと良くないものもありそうだな・・・。 5 めあてを振り返って、学習のまとめをする。 「今日のめあては達成できましたか。」 ・達成できました。 ・「あきしまの水」の水をよりおいしく飲んでもらうために、お店に合った方法と内容考えた。 6 次時への見通しをもつ。 「次の時間はどうしますか。」 ・選んだ方法で「あきしまの水」を伝えるために作成していきたい。 7 本時の学びについて振り返る。	アを選択しやすくなることを気付かせておく。 ◎「あきしまの水」の良さを多面的に伝えられるように今までの学習を活用できるように単元の流れを掲示しておく。 ◎グループで考えた内容を共有できるように視覚化しておく。 (各グループのホワイトボードを黒板に掲示する。) ◎児童の言葉でまとめを行うようにすることで、児童の学習としての主体的な学びを今後も展開していけるようにする。 ◎お店の状況を把握してアイデアの中からどの方法が合っているのかを選び、実現に向けて計画を立てていく。 ●お店に合った方法や内容から「あきしまの水」の素晴らしさの伝え方を選ぶことができる。(ノート・発言) ◎児童の思いを汲み取りながら、次時についての方向性を決定する。 ◎本時で活用した教科についても振り返ることで、資質・能力を結ぶようにする。 ・お店に合った方法で「あきしまの水」の良さを伝えるために〇〇を作成していきたい。
--	--	--

【期待する振り返り】

「あきしまの水」の成分はミネラルウォーターと同じ成分があることを伝え、よりおいしく飲んでもらうために〇〇の方法が良いと選ぶことができました。「あきしまの水」は、消毒するための薬が他の市よりも少ない安全な水でおいしい水ということを伝えて、いつもよりも安心して「あきしまの水」を飲んでもらうために〇〇の方法が良いと選ぶことができました。

(4) 板書計画

①めあて	「あきしまの水」をよりおいしく飲んでもらうために、お店に合った方法と内容を考えよう。	⑤NEXT	「あきしまの水」をよりおいしく飲んでもらうために、お店に合った方法と内容考えた。
②グループ	グループ (内容 方法)	⑥ふりかえり	選んだ方法で「あきしまの水」を伝えるために作成していきたい。
③全体	5分		
④まとめ	3分		
⑤NEXT	2分		
⑥ふりかえり	5分		

〇〇

〇〇

〇〇

〇〇

〇〇

〇〇

〇〇

〇〇

カウンターで見るようにするためにディスプレイにキャッチフレーズをつけたい。